



羅針盤ロゴイラスト：後藤章（ホームヘルプセンター武蔵野）

11月

第92号

月刊

公益財団法人武蔵野市福祉公社

武蔵野市福祉公社は、昭和55年に武蔵野市が全国に先駆けて設立した機関です。誌名「羅針盤」は、ご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を示したものです。

誌 福社公

- 武蔵野市成年後見制度地域連携ネットワーク協議会
- 国際福祉機器展 H.C.R. Web 開催に . . . 1 ページ
- 1年後の私へラブレター あれから1年たちました
- 未来のソーシャルワーカーを育てる～実習現場を通して～
- お待たせしました。やっと開講です。 . . . 2 ページ
- 秋香る食事会 思い出の旅へでかけましょう
- “力作” 作品展
- オンライン研修から見えた！介護業界と「ICT」 . . . 3 ページ
- おしらせ・リレーコラム . . . 4 ページ

「武蔵野市成年後見制度地域連携ネットワーク連絡協議会」を設置、第1回協議会開催！

成年後見利用支援センター

10月13日、令和2年度第1回武蔵野市成年後見制度地域連携ネットワーク連絡協議会が開催されました。この協議会は、「武蔵野市成年後見制度利用促進基本計画（以下「基本計画」）」に基づき、成年後見制度に関する様々な課題を共有し、解決策の検討や後見人等への周知・研修等について協議します。委員は、弁護士・司法書士・社会福祉士・行政書士等の専門職や行政、福祉の関係者です。福祉公社と市は中核機関としてこの地域連携ネットワークを運営し、地域での連携や支援を要する人の早期発見等により、成年後見制度の普及を図ります。

今回は、基本計画の説明、成年後見利用支援センターの紹介、福祉公社の成年後見関係事業の説明があり、最後に各委員から新型コロナウイルスの感染が拡大する中での取り組みなどの報告が行われました。第2回は、令和3年2月10日に開催される予定です。

今後も、成年後見利用支援センターは関係機関等と連携し、計画の基本目標である「生涯を通じて本人意思が尊重され安心して自分らしく暮らせるまち」づくりを目指します。(森安)



「国際福祉機器展 H.C.R.」Web 開催に

住宅改修・福祉用具相談支援センター

毎年秋に東京ビッグサイトで開催されている国際福祉機器展。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になりました。その代替のオンラインイベント「福祉機器 Web2020」が Web サイト上にて開催されています。

当センターは、平成5年開設以来、市民の住宅改修や福祉用具の利用相談等の実績を重ねてきた機関です。「はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー ミニ」にて当センターの牧野排泄ケア専門員が「トイレ・排泄用品編」を、堀家センター長（作業療法士）が「車いす編」を担当しています。15分ほどのセミナーです。他にも随時、最新の福祉機器や福祉関連情報が公開されています。閲覧・参加無料です。ぜひ訪問してみてください。(原・堀家)

国際福祉機器展 H.C.R.

日本初の福祉機器の国際展示会であり、世界でも欧米に次ぐアジア最大規模の福祉機器の展示会。1974年（昭和49年）11月に始まって以来、40年以上にわたって、高齢者と障害者の自立と参加を支えることを目的に毎年開催され、最新の保健福祉・介護・リハビリに関する役立つ情報が発信されています。



会期：2020年10月21日（水）～2020年末

公開場所：H.C.R.Web サイト（<https://www.hcr.or.jp>）

むさしの青空市イベント
 ～ 1年後の私へラブレター ～
 あれから1年たちました



昨年の11月10日に行われた、むさしの青空市にて「1年後の私へラブレター」を企画しました。ご来場者に1年後の自分に向けたメッセージをハガキに書いていただき、1年後に郵送するというものです。清澄な青空に恵まれたイベントから早1年、お預かりしたハガキを確かに郵送しました。

ポストに投函しました。

1年後のご自分へのメッセージはお手もとに届きましたか？

今年の青空市は残念ながら中止となってしまいました。新型コロナウイルス感染症で、昨年からは予想もしない状況となっていますが、みなさまお元気でお過ごしでしょうか。ハガキがお手元に届いて、ご感想はいかがですか？去年の青空市のことを覚えていらっしゃいましたか？1年前のご自分からのラブレターをお読みにになり、このコロナ禍で少しでもお元気になられたら、嬉しく存じます。

ハガキに記載されたURLをスマートフォン等で読み取ると公社のホームページへアクセスする仕組みになっています。ぜひ、感想をお寄せください。(新谷)



← 特設サイト
 こちらからアクセスできます！

未来のソーシャルワーカー
 を育てる

～現場実習を通して～

< 権利擁護センター >

福祉公社は、積み重ねてきた福祉実践が少しでも後進の役に立つように、社会福祉を学ぶ大学生の実習を引き受けています。

9月17日(木)、社会福祉士国家資格の取得を目指す日本大学文理学部社会福祉学科のTさんが権利擁護センターで実習しました。

本来であれば23日間かけて、福祉公社の様々な部署で相談援助実務や福祉サービスの提供を見分し、福祉現場の理解を図る予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い現場での実習が中止となったため、半日だけでしたが権利擁護センターで研修を行いました。

当日は権利擁護センターの主な事業内容について説明し、ご利用者2名とオンライン面談等しました。

実習を終えて、Tさんは「福祉公社の魅力や福祉現場の様子についてよく理解できた」と感想を話してくれました。例年とは異なる状況ではありますが、社会福祉士を目指す学生が、この実習を活かし、無事に過程を修了して、現場で活躍されることを祈念します。(鈴木明)

お待たせしました。やっと開講です。

< 高齢者総合センター社会活動センター >



▲「足から全身ストレッチ」イスを使用して体操しています。

開講が一段落、受講者様・職員の声をお届けします。

Q 講座が再開して日常に変化はありますか？

ずっと家にいたから講座に参加できると日常にリズムができていいですね。

Q 新しい生活様式での受講はいかがですか？

イスに座って運動したけど、結構きつかったです。でも、よかったわ。

社会活動センターより

安全な講座の提供について協議を重ね、8月より順次22講座を開講、残念ながら10講座を中止としました。新しい生活様式に基づく開講方法の見直し、検温や消毒の徹底など工夫して運営しています。緊張の毎日ですが、これからの安全な開催に努めます。(北島)

秋 香る 食事会 思い出の旅へでかけましょう

<高齢者総合センター・デイサービスセンター>

秋の味覚はなんでしょう。かぼちゃ、栗、キノコ、…たくさん思い浮かびます。コロナ禍のため外食会は中止して、10月15日と16日に食事会を開催しました。旬の食材を使ったいつもと違う松花堂弁当におしゃべりの花が咲きました。午後のご利用者様の写真でたどる観光バスの旅です。運転手役はHさんとOさんです。行く先はどこですか?と聞かれ「車庫に入りました」と緊張の面持ちのHさん。3人の故郷や名物をたどり大いに盛り上がりました。どのお話もご家族の唯一無二の貴重な歴史を感じられ、時間がいくらあっても足りないくらい楽しい旅でした。(安部)



<地域包括ケア人材育成センター>

オンライン研修から見た！ 介護業界と「ICT」

10月14日、人材育成センター2回目のオンライン研修(排泄ケア実践研修)を開始しました。地域の事業所に従事する方々のうち、200人以上の方が受講されています。前回の「認知症支援研修」も多くの方が受講され、アンケートでは様々なご意見・ご感想を頂きました(右下)。

コロナ禍で変わったこと

感染予防対策により研修は任意の場所でオンライン受講、事業所によっては内部研修やミーティングもオンラインで実施しているところがあります。社会の潮流により、介護現場でも少し状況が変わったように感じられます。

とはいえ便利に感じてしまうアナログ手段！

他方、アンケートを見ると、今まで通りアナログの方が良いというご意見もあります。特に、オンライン研修では対面でのやりとりができないデメリットがあります。そして新たな方法を導入して慣れるまでには時間がかかります。当センターでも研修案内方法はFAX・郵送が主ですが、将来的にはメールに移行できるよう、少しずつデジタル化を目指しているところです。目的や状況に応じ、デジタルかアナログかの見極めを心がけます。



“力作”作品展

<北町高齢者センターコミュニティケアサロン>

例年なら恒例の『はなみずき祭り』を開催する予定でしたが、コロナ禍のため中止を余儀なくされました。その代わりに、今年は活動室に趣味活動が盛んな北町高齢者センターならではのプログラムの作品を展示致しました。

書道は、約一年間の書道作品を千代紙の表紙の冊子にまとめました。美術は、絵手紙を飾る額装も和紙に色付けして制作しました。手芸は、布のひまわりの額飾りやパッチワーク風のりんごを飾りました。たくさんの実をつけたリンゴの木が誕生し、ご利用者は共同で作り上げた作品の出来栄に充足感を感じました。

ご家族やボランティアの方々にも、温かみのある作品を見学していただきました。(鈴木美)

ICTに向き合い、人材不足に向き合う

介護の仕事では利用者のケアばかりでなく事務処理も必要です。利用者の方々に丁寧なサービスを提供するためには、新たな技術を活用しつつ、できるだけケアやコミュニケーションに時間をかけたいところです。また、ICTに向き合い業務を改善していくことは、業界の人材不足に向き合うことにも繋がります。

オンライン研修を開始して様々なことが見えてきた数か月…人材育成センターは、これからも武蔵野の介護業界が常にアップデートされるよう、日々新鮮な気持ちで業務に取り組みます。(糸谷)

「認知症支援研修」受講者からのご意見 (アンケートより抜粋)

- 家の都合でなかなか研修に参加できませんでしたが、オンライン研修は空いている時間に受講できるのでとても助かりました。
- 期間中、繰り返し視聴できたことはよかった。その場で質問や感想を伝えられない点では、やや物足りなさを感じました。
- 会場で受講する場合は、移動時間もかかるので多くの職員に行かせることが難しいが、オンラインであればより多くの職員が受けることができるので良いと思います。

ご意見お待ちしております ◆ 記事についてのお問い合わせ、ご感想、取り上げてほしいテーマなどぜひお寄せください!

武蔵野市福祉公社 広報委員会

☎ 0422-23-1165 (本部事務所)

武蔵野市福祉公社ホームページのご意見もおまちしております。

<https://fukushikocha.jp/>



お知らせ

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催や内容について変更となる場合があります。事前に担当部署へご確認ください。

家族介護教室 みどりの輪

『すっきり爽やか! 「食べること」から「出すこと」まで』

高齢者介護のお悩みの第一は「排泄ケア」です! 昨年開催の人気講座、今年も開催します。

日時 11月27日(金) 午後1時30分～午後3時
(午後1時受付開始)

場所 高齢者総合センター 3階講義室

講師 牧野 美奈子氏
(武蔵野市住宅改修・福祉用具相談支援センター 排泄ケア専門員)

定員 15名(申込要)

【お問い合わせ・申し込み】

高齢者総合センター 在宅介護・地域包括支援センター
☎ 51-1974

権利擁護センター

老いじたく講座のお知らせ

☆老いじたくの基礎知識

11月26日(木) 午後1時30分～午後3時
福祉公社2階 第二相談室

☆エンディングノート書き方講座

12月11日(金) 午後1時30分～午後3時
市民会館第2学習室

【お問い合わせ・申し込み】

権利擁護センター ☎ 23-1165



職員レコジム

特別編：新任研修を終えて④ 初めてのデイサービス研修

高齢者総合センター デイサービスセンター 谷口裕美

初めてのデイサービスでの研修、全く無知の私にとっては全てがわからなく、何をどうしてよいのやら…スタッフの方達に「今日は見学しているだけでいいからね」と言われた言葉通り、本当に見学しか出来なかったのではないかと思います。

利用者の方達と話をすること自体でも緊張がはしり、研修と一緒にきている同期の皆は上手く会話しているのに、私はどう会話していいのかさえわからず、「初めまして、私介護職というものが初めてで、今凄く緊張しているんです」と、今思うと会話というものではありませんでした。笑

でもそんな私に「大丈夫よ。最初は皆初めて。少しずつ少しずつ覚えて頑張っていけばいいから」とのお言葉。まさかそんな優しい言葉をかけてもらえると思っていなかったの、思わず泣きそうになってしまいました。

二日間の研修の中で、本当に介護職という仕事が務まるのだろうかという不安と同時に、スタッフの生き生きとして働いている姿と利用者様の優しい言葉で、私もここでいろいろなことを学び成長したいと思えた一日でした。

次回は 高齢者総合センター デイサービスセンター 田島雅子

福祉公社各部署のご案内



武蔵野市福祉公社 本部

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

総務課 ☎ 0422-23-1165
権利擁護センター ☎ 0422-23-1165
成年後見利用支援センター ☎ 0422-27-1238
ケアプランセンター ☎ 0422-23-1165
ホームヘルプセンター武蔵野 ☎ 0422-23-2611
地域包括ケア人材育成センター ☎ 0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター

武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

コミュニティケアサロン ☎ 0422-54-5300
子育てひろば・みずきっこ ☎ 0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター

武蔵野市緑町2-4-1

管理・社会活動センター ☎ 0422-51-1975
在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974
住宅改修・福祉用具相談支援センター ☎ 0422-51-1974
デイサービスセンター ☎ 0422-51-2933

<ホームページ>

○ 武蔵野市福祉公社 <https://www.fukushikoshiya.jp>

○ 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター
<https://www.m-machigurumi.jp>

○ ホームヘルプセンター武蔵野
<https://help-musashino.jp>

営業時間 8時30分から17時15分(すべて共通)